

単元名 めざせ楽器名人

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070201_001

【教材名】ハローサミング（器楽）

「もののけ姫」から（器楽）

(P. 26～P. 27)

【準備等】範奏CD，リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「ハローサミング」をリコーダーで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サミングを身に付ける。 ★ サミングにちょう戦しよう <p>○ 範唱奏を聴いて曲の感じをつかむ。</p> <p>○ 階名唱して、練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低いミ→高いミの親指の動きに慣れてから、高いレ→高いミも練習する。 <p>○ 伴奏のリズムにのって楽しく練習する。</p> <p>2 「『もののけ姫』から」をリコーダーで二部合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範奏を聴いて曲の感じをつかむ。 ○ 「『もののけ姫』から」の上のパートを、聴唱法で階名唱する。 ○ 下のパートを階名唱する。 ○ 上のパートと下のパートをに分け、二部合奏する。 ○ 掛け合いや重なりを感じ取り、聴き合いながら二重奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低いミをたっぷりとした息で「ロー」と吹いてから、そのまま左手親指だけすべらせたり立てたりして、指孔（トーンホール）の上の方に1ミリくらいの隙間を作り、「ティー」の発音で吹いて高いミを出す。 ・ 繰り返し定着させる。 ・ 「学びリンク」の動画を活用してもよい。 <p>【新出】リコーダー「高いミ」の運指</p> <p>【評】リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フレーズの流れを意識させる。 ・ 高いミに上がるときに、発音や息のスピードにも気を付け、美しくよく響くところを探し柔らかく丁寧に演奏させる。 <p>【共通事項】音色</p> <p>【評】高音の響きに気を付けて演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途中、掛け合いになっていることに気付かせる。 ・ ブレスで区切って聴唱法で歌わせる。付点のリズムや、タイのついた音のリズムに気を付けさせる。 <p>【発展】全休符</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1拍目の休符に注意させる。 ・ ブレスで区切って、フレーズの流れを意識させる。 ・ 高いミの音の出し方に注意させ、拍にのってゆったりと吹く。 ・ 最初は、上下パートが分かれる3段目から合わせてみる。その後、最初から通して合奏させる。 <p>【共通事項】旋律</p> <p>【評】旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】